

2025年度もよろしくお願いいたします

昨年度は静岡県審判員の皆様には大変お世話になりました。無事に何事もなく1年間過ごせたのも皆様のご協力のもとと感じております。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、まずはレフリー通信のデザイン心機一転で今までの黒を基調としたデザインからエメラルドグリーンを基調とした明るい雰囲気になりました。富士山をバックにいかにも「静岡！」という感じがかり日本一のレフリー通信を配信していきたいと意気込んでおります。作成いただきました方には心より御礼を申し上げます。

2024年度はA級1名、B級5名、C級47名、D級176名の昇格者とE級363名（24年度にE→D級に昇格した方も含まれます）の登録者で25年度は1648名でのスタートとなります。4月から各カテゴリで新学年となった選手たちの大会が始まっております。それぞれのチームが新戦力を迎えて目標に向かって進んでいることと存じます。審判もそれに負けないよう、知識や体力などパフォーマンスが120%発揮できるよう研鑽を積んでいければと思っております。

本年度は新規ライセンス取得者含めて2,000人の登録者数を目標にしております。各カテゴリで審判仲間を増やせるように声掛けをお願いいたします。

現場ではいろいろ皆様にご迷惑をおかけしますが「チーム静岡」で審判を頑張っていきたいと思います！

審判委員会組織図

25年度の審判委員会組織を紹介します。皆様のお力添えのもと運営していきますのでご協力をお願いいたします。

役職	氏名	ライセンス
審判委員長	井出 啓太	S
副委員長	勝又 志織	S
副委員長	浅野 慶太郎	S
副委員長	木下 晋一	A

役職	氏名	ライセンス
総務	木下 晋一	A
(副)総務	水嶋 一範	A
財務	大坂 裕寿	B
(副)財務	福地 真帆	A
広報	福地 真帆	A

役職	氏名	ライセンス
社会人連盟審判長	木下 晋一	A
U-18 審判長	菅川 浩樹	B
U-15 審判長	美澤 将史	A
U-12 審判長	水嶋 一範	A
U-18以下担当	佐原 佳世	A
3X3 担当	河合 拓治	A
講習会担当	浅野 慶太郎	S
(副)講習会担当	佐原 佳世	A
(副)講習会担当	横井泰人	A
障害者BB担当	渡辺 徹	B
女性担当長	青木 紀江	S
(副)女性担当	杉山 千華	A
東海女性担当	福地 真帆	A

4/5 B級伝達講習会

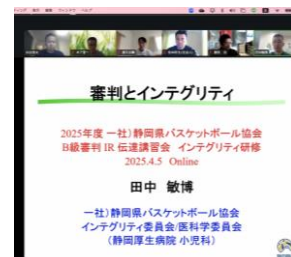
4月5日(土)にB級伝達講習会をリモートにて行いました。審判長挨拶、A級昇格者挨拶、B級昇格者挨拶、ルール変更説明と県バスケットボール協会田中先生を招聘してインテグリティ研修会を行いました。

今年は、審判のためのインテグリティ資料を用意していただき「審判とはなにか」「審判としてのあるべき立ち姿」などについて講習いただきました。改めて審判はコート上で偉い立場なのではなく、ゲームを創り上げる一員であることに気づくことができました。田中先生ありがとうございました！

【インテグリティ研修会内容】

- ・審判としての「誠実さ」「真摯さ」「高潔さ」とは何か
→ゲーム中のコーチやプレイヤーとの関わり方を改めて検証することが大切
- ・コーチやプレイヤーが求めていることは何かを考える
→判定について説明してくれることで納得感・安心感を与えてくれることが大切
- ・審判も人間である以上感情は必ずある
→感情が高ぶっている状態でお互いに接してしまうと交わらなくなることを理解する

審判は選手の「命＝人生」を預かっている



高松宮記念杯 全日本社会人バスケットボールプレミアムチャンピオンシップ派遣報告 報告者:横井 泰人(U15 A級)

本大会は、東海ブロックで2名の選出です。横井さんは見事東海ブロックで派遣権利を勝ち取ることができました。この勢いをもとにS級へステップアップしてくれることを願っております。

日にち	チーム	CC	U1	U2
3/1	愛媛ワイルドキャッツ Gifu Seiryu Heroes	松岡悠貴 (東京)	横井泰人 (静岡)	大山忠則 (秋田)
3/2	ONELYS Wakayama 山形クベーラ	土門亮太 (山形)	横井泰人 (静岡)	佐々木尚人 (宮城)

プレミアムチャンピオンシップは、社会人のSB 1 に所属する8チームと、各ブロックのSB 2 に所属する上位チームが参加する非常にレベルの高い大会でした。

初日は、オープニングゲームを担当させていただきました。大会の基準づくりとして重要な意味をもつので、タフでダイナミックな試合(大会)にするというテーマを持ってコートに立ちました。

プレーを見極め、絵が出来上がってからコールすることを意識する中で、プライマリーの判定を待って、見えないアングルをセカンダリーからヘルプコールを入れたケースがありました。プライマリーがあえてノーコールと判定している場合もあるので、“見えたから”となんでもコールするのではなく、その先にいるクルーへのリスペクトを持って判定することが大切であると改めて感じました。

2日目は、SB 1 昇格を決めたチームとSB 1 (4位)のチームのカードでした。外国籍選手同士のマッチアップがあり、よりハイレベルでタフなゲームとなりました。それゆえに、選手のインテンシティコントロールや、選手やコーチとの適度なコミュニケーションが必要な場面が多くありました。また、すべてをレイトコールにするのではなく、大きなインパクトを伴うものやラフなコンタクトについては、イミディエイトホイッスルで対応したことで、ラフではなく、タフでダイナミックな試合になったのではないかと思います。

(追伸)

大会初日終了後に、有志で「CHANDORA」というカフェレストランへ行きました。青森らしい海鮮料理...というわけではありませんでしたが、おしゃれで美味しい料理の数々を堪能させていただきました。

何より、高い志をもった審判員が全国から集まっていたので、そういう方々との交流が刺激になりました。中には、10年以上前に参加したYOC以来の再会をした方もいました。次に会う時には、今よりレベルアップしていることを互いに誓いました。



CHANDORA
店内風景



静岡県のカメラマンに撮ってもらった写真だそうです！レフリー姿ってなかなか撮ってもらえないので貴重ですね！

マクドナルド全国ミニバスケットボール大会 派遣報告 報告者:坂本隼将(U12 B級)

日にち	男女	チーム	CC	U 1
3/28	女子	老上ミニバス(滋賀) 八栄MBC(千葉)	内藤教子 (山梨:B)	坂本隼将 (静岡:B)
3/29	女子	忍野ウィザーズ(山梨) SUNRISE MBC(和歌山)	都筑陽介 (群馬:B)	坂本隼将 (静岡:B)

▼3/28(金) 老上ミニバス(滋賀)対八栄MBC(千葉)

初めての全国大会という大きな舞台でゲームの提供を目指していくのにあたって緊張を凄くしてしまう自分なので事前にできる限りのことは準備をして望みました。

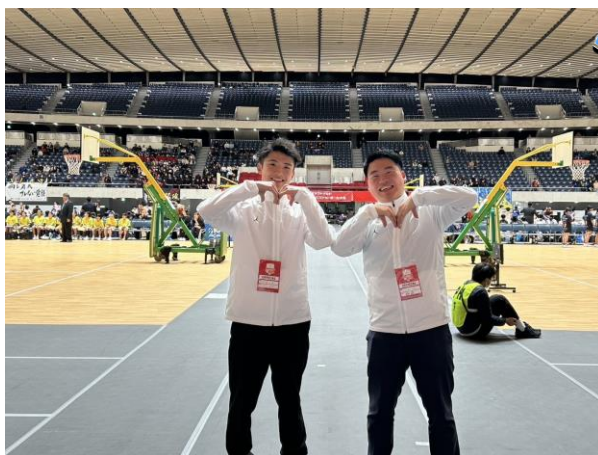
八栄MBCは全体的身長が大きく、老上ミニバスはディフェンスが激しいチームでした。手のところはクルーとしてもっと取り上げて良かったと反省を頂きました。時間の管理で自分が時間を持っていなく間違えてしまったケースがあり準備不足で凄く悔しかったです。

▼3/29(土) 忍野ウィザーズ(山梨)ーSUNRISE MBC(和歌山)

1日目の反省を頭に入れてゲームに入りました。4クォーター途中まで山梨のチームが勝っていたが和歌山が追いつけてきて最終的に和歌山のチームが1点差で勝利を掴み取ったゲームでした。ファールの基準、ベンチとのコミュニケーションなどを1クォーターからクルーと共有していきました。1日目の反省を活かしてクルーと協力しながらマジックタイムが完璧にできそうでしたが、4クォーター終了の前にバイオレーションがありコールが先でタイマーが鳴ったのでクルーで話し合い0.9にしたが映像を見返したら0.4でした。コンマ何秒ですが出来るプレーが変わり1点差という場面だったので改めて時間管理の重みを感じました。選手、コーチにファールをなるべくしないようにしてもらおうコミュニケーションを取っていた中で選手が我慢できなかつたり、自分もパシエントしきれないケースがあったりもっと最後まで影響を見れるになりたいと思いました。それでも意識してやめてくれるところがあったのでトライしてコミュニケーションを取りにいけて良かったです。

▼大会を振り返って

全国大会ということで緊張しましたがこの2日間は自分が少しでも成長出来たかなと思います。プレゼン、時間の管理、判定力、声の掛け方など凄く勉強になりました。教えていただいたこと、課題にしていることなどをしっかり準備してゲームに入りそれをトライしてみることが成長の第一歩なのかなと思います。自分は課題がたくさんありそれをできるようにしていきたいです。中々うまくいかなかったり出来ないことばかりですが今後も頑張っていきます！ご指導のほどよろしくお願いします！2日間ありがとうございました！



NICE



マクドナルド全国ミニバスケットボール大会 派遣報告 報告者:大畑 棕(U12 B級)

日にち	男女	チーム	CC	U
3/29	女子	金津MBC(福井) 深井リトルペッパーズ(大阪)	竹澤 友美 (埼玉:S)	大畑 棕 (静岡:B)
3/30	男子	竹矢アローズ(島根) 江平リトルソルジャーズ(宮崎)	林 祥吾 (山梨:B)	大畑 棕 (静岡:B)
3/31	男子	友渚ミニバスケットボールクラブイーグルス(大阪) 若宮白幡MBC(千葉)	坪井 敏輝 (福島:B)	大畑 棕 (静岡:B)

▼3/29(土) 女子 金津MBC(福井) - 深井リトルペッパーズ(大阪)

両チームとも今大会最後の試合であった。リトルペッパーズのディフェンスが激しく、点差が開く展開となったが、両チームとも試合に最後まで集中した試合となりました。4Qでブザーとビッグホーンが鳴らなくなってしまう機材トラブルもあったが、コミッショナーのブザーを借りて対応し、大きな影響を与えることなく試合を進めていけました。Wリーグ担当の竹澤様と試合を吹くことができ、貴重な経験を積むことができました。

▼3/30(日) 男子 竹矢アローズ(島根) - 江平リトルソルジャーズ(宮崎)

両チームとも今大会初めての試合でした。両チームともタフにディフェンスをするチームでしたが、時々ラフなプレーに繋がることがあり、ファウルの基準についてクルーとコミュニケーションをとりながら整理していきました。両ベンチのHCともコミュニケーションをとる中で、傾聴する部分と見たものをそのまま伝える部分の使い分けが課題であると感じました。

▼3/31(月) 男子 友渚ミニバスケットボールクラブイーグルス(大阪) - 若宮白幡MBC(千葉)

大会最終日となり、千葉のチームにとっては6年生最後の試合であることを意識してゲームに臨みました。ゲームを通してシングルコールが多く、プライマリーとセカンダリーの立場を整理することができたと思います。TOの部分でスコアの確認やショットクロックの訂正なども見られたが、それぞれ迅速に対応し、43分間で試合を完結できました。

▼大会を振り返って

全国の若手審判の姿を見ることができ、良い刺激を受けました。今大会より新ルールとして3ポイントの導入があり、相手のターンオーバー直後に3ポイントを打つ場面も多く、Lのフラッシュの意識を高める良い機会となりました。時間に限りがある中で、東海ブロックの審判全員でご飯を食べにいたり、静岡県代表のチームと話をしたりすることができ、大変有意義な3日間となりました。

